

## ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：建築&芸術学部 名前：南 修平 作成日：2026年01月27日

### 1. 教育の責任

「学修活動を通じて、創造的な構想力と表現力を修得し、文化的に人間生活を考える素養を備えた感性豊かな人材を養成する」とした建築&芸術学部の教育目標をふまえて、『自分らしい表現とは何か』を考えることで構想力の、作品制作を通じて課題解決能力の向上に努める。

#### 【主な担当科目】

デジタルイラストレーションⅠ（実技・マンガ制作メジャー選択必修科目 春学期 2単位）

デジタルイラストレーションⅡ（実技・マンガ制作メジャー選択必修科目 秋学期 2単位）

アート体験（実技、デザイン・造形美術メジャー選択必修科目、春学期2単位）

### 2. 教育の理念

「豊かな教養と専門的学術、旺盛な自己開発精神、優れた国際感覚及び問題解決能力を備えた人材を育成する」という本学の教育目的をふまえ、「マンガ」という多様性にあふれる世界に触れ、吸収し、発信する、これらのプロセスを経験し、若い感性を以て自身の考えを表現するための手助けを行うことを理念としている。

### 3. 教育の方法

#### （1）授業実践の工夫

クリエイティブ業界で使用するデジタルツールにはじめて触れる学生も多くいるため、まずは基本的な操作から解説を行う。

座学だけの授業にならないよう、授業内課題をとおしてステップアップ方式で技術の習得ができるように設定している。

また、マンガやイラストレーションの世界は作者によって表現方法やその表現に使用する技法が様々なため、全体へのレクチャーよりもそれぞれの学生に合った内容の細かなテクニックや使用するツールの解説などの個別指導を重視している。

#### （2）総合的な学修成果達成のための工夫

春学期の最終課題では展示用の作品を制作し、秋学期に学内で展示会を開催。

また、各学期の最終日には作品の合評を行っている。

これらには自身の作品を見つめなおし自分の持つ強みや今後の課題の発見を促す目的のほかに、同じテーマで制作された他者の作品を鑑賞することで自分にはなかった発想に触れ、表現の視野を広く持ってもらおうという目的を兼ねている。

### 4. 教育の成果

展示や合評を経験することで、学生たちが「ただ漠然と与えられた課題を描く」だけでなく、「しっかりと表現する」ための作品作りを意識するようになりクリエイターとしての自覚をもてるようになる。これは3年生、4年生の授業へと引き継がれ、卒業後の進路においても大きな役割を担っていると感じる。

### 5. 改善への努力と今後の目標

1. 学生によって作品完成までの速度にばらつきがあり、遅れている学生の作業時間の確保が難しい。

自習教室の設定など授業外で学生が制作できる環境を構築したい。

2. 授業内だけでは経験が浅くまだ練度の低い学生が、自分の作品に対して自信を持たず、それが積み重なった結果として意欲の低下につながってしまう傾向がある。

一人一人の強みを見つけ後押しできるような指導を心掛けたい。

## ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：建築&芸術学部 名前：南 修平 作成日：2026年01月27日

### 【添付資料】

担当授業 2025年度シラバス  
Illustrator 基礎 I・II (PDF)  
Photoshop 基礎 I・II (PDF)  
構図基礎 (PowerPoint)  
クラブスタジオ基礎 (PDF)  
作品展示 (写真)



ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：建築&芸術学部 名前：南 修平 作成日：2026年01月27日

